２０２５年度

自己点検・評価　報告書

学校法人　藤川学園
公務員ビジネス専門学校

評価項目の達成及び取組状況

評価欄：適切…４，ほぼ適切…３，やや不適切…２，不適切…１

① 教育理念・目的・人材育成像

No.	評 価 項 目	評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

現　状	創立40周年を迎え、設立当初の教育理念を振り返り、「社会奉仕の心」「真心を込めて」「日々向上の努力」という基本的な方針を学生指導に生かし、職場見学等の充実に加え、目的意識の醸成に資するよう、まい進した。

課題及び改善方法	スマホ社会で、「即回答」を欲する学生が増加しているので、一旦、立ち止まって考える時間的な余裕を持たせる心のゆとりを与える必要があり、グループワーキングや地域ボランティア活動等を通して、アナログによる意思疎通の大切さを体感させている。

特記事項	特になし。

② 学校運営

No.	評 価 項 目	評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

現　状	教職員間での情報共有化について、会議等を通して達成できてはいるが、データ化した場合の共有フォルダの利用やメール送受信における確認の遅れが多少見受けられている。

課題及び改善方法	ネットワークシステムの理解と確認における習慣化を各部署で徹底していく必要性がある。

特記事項	特になし。

③ 教育活動

（目標の設定等）

No.	評 価 項 目	評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4

現　状	教育理念（社会奉仕の心・真心を込めて・日々向上の努力）を全うするには、地域社会における役割や分担も認識する必要性があり、そのためにも、地域ボランティア活動を導入したうえで、所定のカリキュラムの時間確保がなされている。

課題及び改善方法	オンラインによる学習プログラムが必須となっているので、今後は、学生のアクセス情報を把握し、模擬試験等を通し、苦手意識がある教科の特定・克服対策が重要になっていくものと思われる。

特記事項	特になし。

(教育方法・評価等)

No.	評価項目	評価
1	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
3	関係分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
4	関係分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
5	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
6	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
7	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4

現　状	教育目標である資格取得により有効なカリキュラムの開発は、入学生のレベルに応じてフレキスブルである必要がある。そのため、各教科責任者によるテキストの改訂や時間割の編成等、常にアップデートしていかねばならない。

課題及び改善方法	学科・クラスにより、若干の温度差があるので、学年主任等を中心にした教務会議等により、課題の共有・改善策を協議し、対応策を練っている。

特記事項	特になし。

(資格試験)

No.	評価項目	評価
1	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4

現　状	所轄官庁の設置基準・指針に則り、カリキュラム編成されており、各修学年次における習熟度を上げる努力が正規授業に加え、補習等を通しても実施されている。

課題及び改善方法	クラス間や学生の能力の個人差、救急救命士の国家試験対策の開始時期や出題されるA・B・C・D分野(試験内容)に関する時間配分をより綿密に分析することで、国家試験合格率の向上が図られている。

特記事項	特になし。

（教職員）

No.	評 価 項 目	評価
1	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2	関連分野における業界等の連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
3	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
4	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

現　状	実務経験者等の基幹教員の採用。学生数に応じた人員が配置されている。必要に応じ、各研修等も割り当てしている。

課題及び改善方法	実務経験者であるが故に、現場での厳しさを強調・指導しがちであるので、先ずは未経験者である学生の立場にたって指導する寛大さを身につけなければならない教職員もいる。その為、定期的な朝礼・教職員会議での問題提起により、自覚を促し、改善を試みている。

特記事項	特になし。

④ 学修成果

No.	評 価 項 目	評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

現　状	クラス担任による学生動向の把握に力をいれており、脱落者防止対策に万全を期している。校舎内にもコミュニティールームを設置するのなど、施設面からの教育改善も効果を発揮している。

課題及び改善方法	連続した欠席に対する対応が、何よりも欠かせないので、先ずはクラス担任が学生の動向を正確に掴む努力から始まっている。定期的な保護者への習熟度通知などを通しても学生の動向の共有化を進めている。

特記事項	特になし。

⑤ 学生支援

No.	評 価 項 目	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	3

現　状	就職支援情報については、採用試験日程含め、クラスルームでの告知、館内の掲示板による告知に加え、担任からも口頭通知がなされており、聞き漏れが出ない体制となっている。

課題及び改善方法	担任制度を採用しているため学生に対する支援等については随所に対応し、学生に不利益が生じないよう担任、学生主任等がオンラインシステムや掲示等を活用の上、適時対処している。

特記事項	特になし。

⑥ 教育環境

No.	評 価 項 目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	4

現　状	法令に示す実習室等は整備されている。学外実習においても、受け入れ先の開拓含め、整備されている。また、学内にて防災体制は計画を作成し定期的な訓練を実施している。

課題及び改善方法	立地がビジネス街の中心地であることから、多人数が集合できる場所が限られる為、自治体含め、町内会等と協調しながら、防災整備も進めている。

特記事項	特になし。

⑦ 学生の受入れ募集

No.	評 価 項 目	評価
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	3
2	学生募集活動は、適正に行われているか	4
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
4	学生納付金は妥当なものとなっているか	4

現　状	大学進学率の上昇・少子化により、専門学校の学生募集環境が厳しい中、立地や就職率など他校に引けを取らない特長を生かし、さらに、SNS 等を通して実績を知ってもらう為の広報活動に力を入れている。

課題及び改善方法	本学の特長を更に、広める為、SNS 等に加え、今年は、近隣の高校訪問等の充実により、知名度アップに繋げていきたい。

特記事項	特になし。

⑧ 財務

No.	評 価 項 目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3

現　状	一定の入学者確保はできており、固定費の削減など含め、財務基盤の安定化を図っている。

課題及び改善方法	少子化に伴い、定員確保が困難となった場合を想定の上、校舎の営繕を加速化し、立地を生かした賃貸業へのシフトも視野にいれている。

特記事項	特になし。

⑨ 法令等の遵守

No.	評 価 項 目	評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	3

現　状	自治体からの通達事項を確認の上、学園内周知事項の徹底を強化している。更に、各種情報管理については、各部署にシュレッダー等の設置により、個人情報等の漏洩がないよう推進している。

課題及び改善方法	各学科、各クラス間で差が出ない様、会議等の定例化を実施しているが、教職員全ての都合に合わせた日程の計画は、困難な為、メール等により、なるべく、誤差がないように通知している。

特記事項	特になし。

⑩ 社会貢献・地域貢献

No.	評 価 項 目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

現　状	原則、公務員を目指している学生が多数を占め、全体の奉仕者という観点から地域のボランティア活動は積極的に参加し行っている。また、献血にも学校単位で協力している。

課題及び改善方法	中学・高校等からの職場体験の一環として、職業説明など、要望に応じた講座を学内若しくは希望校内において実施している。

特記事項	特になし。